

金融危機と情報ギャップ(概要)

IMF/FSB 作成

I. 経緯等

- 良質なデータ・分析は、実効的な監督と政策対応において最も重要であるという問題意識のもと、本報告書は、「IMF/FSB による情報ギャップについての精査、情報収集の強化に関する提言の策定」という G20 首脳の要請に対応。

II. 提言等

金融セクターにおけるリスクの積み上がりの捕捉

- 金融機関等の健全性に関する国際的なデータ報告体制の強化。
- 金融システム全体としてのレバレッジ及び満期ミスマッチの計測手法の検討。
- リスク移転商品(例:CDS)に関する統計の拡充。

国際的な金融ネットワークに関する統計の拡充

- 国際的にシステム上重要な金融機関間の連関についての統計の拡充。
- 特に銀行以外の金融機関の活動を捕捉するため、国境を越えた投資取引のポジション等のデータ収集に関する取組みの強化。

国内経済の脆弱性の監視

- 国内経済のバランスシート及び資金循環に関するセクター別統計の拡充。
- 国際的に比較可能な政府財政統計への取組み。
- 不動産価格データの国際的な比較可能性の向上。

公的統計の情報発信

- データ利用者のデータ入手可能性を高めるため、公的統計の情報発信を強化。

作業計画

- FSB 及び IMF は、G20 財務大臣・中央銀行総裁会議に対して、2010 年 6 月までに、提言実施の進捗状況及び実施計画を報告。それ以降、毎年一度、進捗状況を報告。